

Q14 寝る前のチェック！その服や寝具は室温にあっている？

①気温にあったすこしやすい服や寝具を使っているから冷暖房は使わない（5点）②少し寒い（暑い）けど、ガマンして寝る（3点）③冷暖房を使うから、服装や寝具は気にしない（0点）

こどもエコミーティングに参加したこどもたちが勉強している隣の部屋では、環境問題の対策が紹介されています。どんなことが書かれているのか見てみましょう。



＜違法伐採の防止＞

森を切り開いて農地にすることが、森林減少の大きな原因です。そのきっかけに、それぞれの国の法律に違反をして森林を伐採する違法伐採の問題があります。

インドネシアでは、森林伐採の50%が違法伐採であるとの調査結果もあり、違法伐採された木材は輸出されています。日本は、国内で使う木材の約80%を外国から輸入しているので、私たちの生活は、身近な木材製品を通じて、海外の森林減少、違法伐採問題と関係しています。

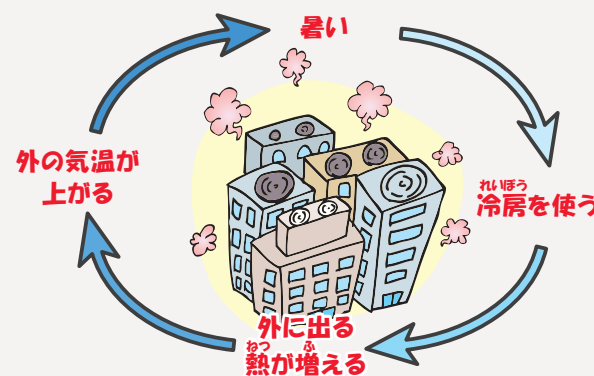
知らないうちに違法伐採された木材を使ってしまうために、森林を認証する制度を活用した木材や合法性が認証された木材を利用したりすることが大切です。身の回りの木材製品で、こんなマークを探してみましょう。

いろいろな森林認証マークなど



＜雨水を使ってヒートアイランド対策＞

ビルや舗装道路が多い都会では、太陽の熱でコンクリートやアスファルトがとても熱くなります。また、エアコンや自動車からも熱がたくさん出ていて、都会の気温は周りの地域より高くなっています。これはヒートアイランド現象と言われ、その対策の1つとして、雨水を利用する方法があります。



しくみ

ふった雨をたくわえておけるようにした道路は、普通の道路に比べて路面の温度が10～20℃も下がります。この道路の地下に雨水を貯める貯水槽と、雨水をくみ上げるポンプを設置すると、効果はさらに長く続きます。

現在は、エネルギーの消費を抑えるために、ポンプを使わずに自然の現象を利用して雨水をくみ上げる技術が研究されています。（社団法人雨水貯留浸透技術協会より）



＜カーボン・オフセットで地球温暖化対策＞

二酸化炭素（＝カーボン）の排出をなるべく抑える努力はしたけれど、日常生活で二酸化炭素は必ず出てしまいます。どうしても出てしまう二酸化炭素を、風力発電などで削減される排出量や、森林を適切に管理することによって増加する吸収量を購入することで、埋め合わせ（＝オフセット）しようという取り組みがカーボン・オフセットです。

目的

さまざまな企業や個人が、カーボン・オフセットの取り組みを行うことで、二酸化炭素を削減することができます。また、二酸化炭素を削減・吸収するプロジェクトに資金が提供されることで地球温暖化防止の活動が促進されます。

